

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	萩市における快適な生活環境の推進										重点配分対象の該当		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)												
交付対象	萩市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心な環境を整え快適な生活環境を実現する												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	1,118	A	1,118	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (-)	最終目標値 (H31末)
1	①過去10年間に床上浸水被害を受けた家屋のうち未だ浸水の恐れのある家屋の被災解消率を0% (H27) から0% (H29) に増加させる。 ①過去10年間に床上浸水被害を受けた家屋のうち未だ浸水の恐れのある家屋の被災解消率 (%) =被災解消した戸数 (戸) / 過去10年間に床上浸水した戸数 (戸)	0%	%	0%
2	②下水道処理人口普及率を36.1% (H26) から37.2% (H29) に増加させる。 ②下水道処理人口普及率 (‰) =下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	361‰	‰	372‰
3	③平成9年度以前に施工した重要な幹線等の簡易耐震診断率を0%から100% (H31) に増加させる。 ③平成9年度以前に施工した重要な幹線等の簡易耐震診断率 (%) =簡易耐震診断完了済の重要な幹線等の延長 (km) / 簡易耐震診断すべき重要な幹線等の延長 (km)	0%	%	100%
4	④管渠にかかる重要な幹線等のストックマネジメント計画策定率を0%から100% (H31) に増加させる。 ④管渠にかかる重要な幹線等のストックマネジメント計画策定率 (%) =ストックマネジメント計画策定済の重要な幹線等の延長 (km) / ストックマネジメント計画を策定すべき重要な幹線等の延長 (km)	0%	%	100%
5	⑤処理場にかかるストックマネジメント計画策定率を0%から100% (H31) に増加させる。 ⑤処理場にかかるストックマネジメント計画策定率 =ストックマネジメント計画策定済の処理場数 (箇所) / ストックマネジメント計画を策定すべき処理場数 (箇所)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
・成果目標①はH30から重点計画へ移行したため最終目標値はH29末時点の数値。(H29末はポンプ場の整備中であり、整備後に被災解消戸数を計上するため最終目標値は0%となる) ・成果目標②はH30から重点計画へ移行したため最終目標値はH29末時点の数値。														

A 基幹事業																						
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H27	H28	H29	H30	H31						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
下水道事業	A07-001	下水道	一般	萩市	直接	萩市	ポンプ場	新設	堀内雨水ポンプ場 A1-1-2	処理能力 10.7m ³ /s	萩市		■	■			482		—			
		①																				
	A07-002	下水道	一般	萩市	直接	萩市	管渠 (汚水)	新設	萩処理区汚水幹線 A1-1-3	L=2.7km	萩市		■	■	■			40		—		
		②																				
	A07-003	下水道	一般	萩市	直接	萩市	管渠 (汚水)	新設	萩処理区汚水枝線 A1-1-4	72ha	萩市		■	■	■			487		—		
		②																				
	A07-004	下水道	一般	萩市	直接	萩市	管渠 (汚水)	改築	萩処理区 管渠 (耐震) A1-1-5	調査・詳細設計	萩市					■		0		—		
		③																				
	A07-005	下水道	一般	萩市	直接	萩市	—	—	萩処理区 管渠、処理場 A1-1-8	調査・詳細設計、ストックマネジメント計画策定	萩市		■	■	■	■	■	109		—		
		④⑤																				
													小計						1,118			
												合計							1,118			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課 萩市上下水道局（総務課、下水道建設課）	令和5年2月
	公表の方法
	萩市のホームページに掲載する。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 堀内雨水ポンプ場整備はH29末時点では整備中のため目標が未達成であるが、H31には浸水被災家屋の被災解消を100%達成している。 2 下水道処理人口普及率が36.1%（H26）から39.1%に向上し、目標の37.2%から1.9%上回ることができた。 3 重要な幹線等の簡易耐震診断は、ストックマネジメント計画策定を優先したことで、目標を達成することができなかった。 4、5 スtockマネジメント計画を策定し、目標を100%達成することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

内水浸水対策については、気候変動の影響を踏まえた雨水管理総合計画の策定を検討する。
 下水道整備については、引き続き下水道処理人口普及率の向上に努めると共に、ストックマネジメント計画による計画的な施設整備（更新）を行い、持続可能な行政サービスの提供に努める。
 重要な幹線等の簡易耐震診断については、次期ストックマネジメント計画策定時（R7以降）に実施時期を検討する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	被災解消した戸数（戸）／過去10年間に床上浸水した戸数（戸）	
	最終目標値	0%
	最終実績値	0%
2	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	
	最終目標値	372%
	最終実績値	391%
3	簡易耐震診断完了済の重要な幹線等の延長（km）／簡易耐震診断すべき重要な幹線等の延長（km）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	0%
4	ストックマネジメント計画策定済の重要な幹線等の延長（km）／ストックマネジメント計画を策定すべき重要な幹線等の延長（km）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
5	ストックマネジメント計画策定済の処理場数（箇所）／ストックマネジメント計画を策定すべき処理場数（箇所）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

